

1 部門目標

安全な麻酔管理を提供できるよう努めること
他部門や手室のスタッフとコミュニケーションをとって、
円滑な手術室運営を心がけること

2 業務体制・スタッフ

佐藤由美、吉田亜紀子、蓑輪百合子の3名の常勤スタッフで麻酔業務を担当させていただきました。

麻酔科の医局の実情として、常勤スタッフを派遣していただけることはないため、篠原先生（千葉大学）、根橋先生（千葉医療センター）に、外勤として協力していただいております。

3 業務実績

麻酔管理症例数

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
全身麻酔	1183	1158	997	1062
吸入麻酔	397	436	494	443
完全静脈麻酔	567	521	329	448
硬膜外併用				
吸入麻酔	75	90	95	72
硬膜外併用				
完全静脈麻酔	144	111	79	99
局所麻酔	243	294	255	235
脊椎硬膜外麻酔	232	273	251	234
硬膜外麻酔	2	1	1	0
脊椎くも膜下麻酔	9	20	3	1
総計	1426	1452	1252	1297

4 1年間の総括

平成29年度は、麻酔科の医局の中で、今まで臨床の場において現役で活躍されてきた先生方が、順番で定年退官されることとなり、その後、常勤医を補充できる見通しがたたないことが話題となりました。

大学に人材を集約して、臨床、教育、研究と重要な役割を大学が一手に担ってきたわけで、私などは医局に対して、敬意を持って、感謝申し上げるよりほかはないわけです。

医局員の流失に関しても、それぞれに切羽詰まった事情や、譲れない思いがあるのだろうと思われまます。

その結果、少ない常勤医で、効率よくなんとかするしかないという、お約束通りの展開となります。

さらには、外勤、外部麻酔委託業者への依頼というようなことも公に語られるようになり、2-3室外注ですとか、夜間、土日の緊急は外注ですというようなコメントもよく聞くようになりました。

常勤医とローテーター医師の協力体制で急場をしのぐというよりは、常勤医と外部麻酔委託業者との協力体制で数年単位、しのぐということになるようです。麻酔科医個人にとって、納得のいく幸せなシェアが実現できるように祈るばかりです。

5 今後の目標

安全な麻酔管理を提供できるよう努めること

他部門や手室のスタッフとコミュニケーションをとって、

円滑な手術室運営を心がけること

今後とも、ご指導のほど、よろしく願いいたします。

最後に、運営方針の転換や、常勤スタッフの交代がありましても、その都度、ご助言をいただきまして、ありがとうございます。